

# 限られた財源の中で 安心づくりを最優先

伊豆の国市誕生から五年目を迎えるにあたり、市政運営に取り組み施策の概要を申し上げ、市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

(市議会平成二十一年三月定例会・市長施政方針より抜粋)

## 平成二十一年度予算編成にあたり

百年に一度といわれている昨今の経済危機は、本市においても影響が出ており、平成二十一年度の法人市民税は、平成十九年度決算より約四億円の減収になると見込んでおります。景気の後退は、配当割、株式譲渡所得割、地方消費税などの交付金収入にも影響が及んでおり、財政環境は非常に厳しい状況になってきております。

平成二十一年度予算は、このような厳しい状況の中での予算編成でありましたが、総合計画に掲げる将来像の実現に向け、事業の必要性・緊急性の観点から優先順位を見極め、施策を選択しました。新年度予算は、教育・子育て・生活環境の向上に重点を置き、市民生活の基本であります「安心づくり最優先の予算」とし、課題や重点施策への対応にも積極的に配慮した予算案になったと考えております(予算概要は四、五ページ)。

平成二十一年度の主要な施策について、総合計画に掲げた将来像を実現するための「三つの戦略」と、まちづくりの「六つの基本方針」に沿って説明します。

## 総合計画 三つの戦略

**戦略一 伊豆半島交流軸の構築** キーワード「伊豆半島の中心」「ウエルネス産業の集積」「商工業の集積」「情報の発信」「交通網のネットワーク化」を目指します。この戦略に基づき、

商工業の集積のために企業立地促進事業に取り組み、また道路新設改良事業や辺地対策事業などで、交通網のネットワーク化に取り組んでいきます。

**戦略二 狩野川流域生活圏の一体化** キーワード「狩野川」「流域文化の再生」「狩野川水系エコミュージアム化」「水害対策の強化」「水資源の保全と活用」を目指します。この戦略に基づき、史跡北条氏邸跡発掘調査事業や旧大仁町史刊行事業で流域文化の再生に取り組み、また浸水対策事業や都市水路整備事業などで水害対策を強化します。

**戦略三 安全、安心、健康のまちづくり** キーワード「食と農」「戦略的観光誘客への転換」「農業の活性化」「ウエルネス・マネジメントの推進」「循環型社会の形成」を目指します。この戦略に基づき、農業の活性化のため、農産物産地競争力強化事業で、イチゴ苗供給体制の安定化などに取り組み、循環型社会の形成のために、食品残渣や畜糞などから安全な堆肥をつくる堆肥化施設の建設などに取り組んでいきます。

## 総合計画 六つの基本方針

**第一 美しい自然に恵まれた快適な空間のまちづくり**

### 自然環境

不法投棄対策事業やグリーンフェスタなどの緑化推進事業を進め、景観に配慮した美しいまちづくりを目指します。森林ボランティアを育成し、放任竹林整備に取り組んでいきます。

今年一月にオープンした守山西公園をはじめ、市民に親しんでいただけの憩いの場として公園施設の充実に努めていきます。また、各種団体行事やリサイクルまつりなどを活用して、こみの減量化と資源化の啓蒙運動を図っていきます。地球温暖化対策を一層推進し、エコアクション21の認証取得を目指し、環境負荷の軽減に取り組んでいきます。

**第二 生き生き動く活気に満ちた産業のあるまちづくり**

### 産業・経済労働

中山間地まちづくり事業として、当市の豊かな自然や農地、温泉などの地域資源を活用した、新たな魅力を発信する交流の場と、地域産業の振興につながる整備に取り組んでいきます。

今年六月の富士山静岡空港の開港に伴う外国人観光客を迎え

るため、多言語表記の観光案内板の整備を進めます。また、外客誘致や観光地のにぎわいを高めるため、観光協会や旅館組合などが進める観光イベントの支援を図っていきます。

農業後継者の育成、用排水路整備、湛水防除施設整備などの基盤整備を図るとともに、生ごみ堆肥を活用した栽培の普及に向けて、栽培された野菜の販路の確立や、栽培者の増員など、安全、安心、健康のまちづくり事業を推進します。

また現在の社会情勢を受け、公文書管理事業や道路・河川環境美化事業で、新たな雇用機会の創出に取り組んでいきます。

**第三 未来を担う人を育み豊かな歴史・文化を築くまちづくり**

将来を担う子どもたちの安全を確保するため、長岡南小体育館の耐震補強や長岡北小、葦山中の校舎改修など、耐震整備を図っていきます。また、葦山西幼稚園と統合する共和幼稚園や、長岡幼稚園、田京幼稚園、堀越保育園の四園舎については、測量設計や用地取得など、建設に向け着手していきます。継続事業であります大仁中建設は、今年度に校舎が完成予定です。また新たな試みとして、携帯電話などに情報を一斉送信できる『子ども安全安心連絡網サービス』を導入し、緊急時の保護者への連絡に活用していきます。

第二十四回国民文化祭(十月二十四日～十一月八日開催)で、江川坦庵公の功績に着目した演劇や合唱、オペラなど六つの部門の祭典を開催し、坦庵公を全国に発信していきます。

**第四 だれでもすこやか元気に生きるまちづくり**

健康増進計画に基づき、乳幼児から成人までの検診事業を充実させ、早期発見・早期治療を心がけていただくことで、市民の健康づくりを進めます。

### 健康福祉

対象を小学校三年生まで引き上げた、自己負担なしの医療費助成を今年度も継続し、子育てを支援していきます。また、少子化対策としての不妊治療助成を継続するとともに、妊婦健診に対する助成を拡大し、経済的負担の軽減を図ります。

第二期福祉村の建設については、障害者計画に合わせ、障害者にやさしいまち、障害者の社会参加のための環境整備として、今年度は造成工事に着手します。

高齢者や障害のある人が積極的に活動するための外出支援として、高齢者福祉タクシー等利用助成や、やすらぎの家、水晶苑への送迎バスの運行とともに、心身障害者(児)タクシー等利用助成を継続して実施します。葦山多田地区に建設中の特別養護老人ホーム「ぶなの森」は、七月一日から入所開始予定となっています。

**第五 住みたい訪れたいにぎわいのあるまちづくり**

### 都市基盤生活環境

都市基盤の整備としては、洞川流域浸水対策事業、山田川流域浸水対策事業、長岡川都市下水路整備事業、小坂地区の都市下水路整備事業などに取り組み、水害対策を一層強化します。

道路整備としては、継続事業であります合併特例債事業の第一〇一号線をはじめ、十四路線の改良工事を行っていきます。生活道路についても、安全性の確保や適切な維持管理で、市民の利便性の向上を図ります。

良好で安定した水を供給するため、大仁地区と長岡地区、葦山地区と長岡地区への連絡管整備に取り組むとともに、震災に備え、石綿管から耐震管への敷設替えに取り組んでいきます。また、下水道区域の全体計画の見直しなどで、雨水幹線整備を進めます。

生活環境の整備では、整備事業者への補助を実施し、高速インターネット未整備地区の解消を図っていきます。防災対策では、プロジェクト「TOUKAIE」事業において、木造住宅の耐震補強工事に対して、今までの補助に加え、今年度からは市単独補助として十万円を上乗せします。

**第六 みんなが主役、明日に向かって進むまちづくり**

### 行政運営市民参加

市民と行政の協働を図っていくには、行政からの情報の提供と、市民からの行政ニーズの的確な把握ができる環境づくりが重要です。市民と情報を共有するため、広報やホームページで情報を的確に発信し、開かれた行政を推進します。各地区での市政懇談会や市長へのまちづくりご意見箱、Eメールなど市民から寄せられた提言や意見をいかし、より良い市政を実現します。

また行財政改革大綱と集中改革プランに基づき、限られた財源の中で、より効果的な行財政運営に取り組んでいきます。

平成21年度  
当初予算の概要

問合せ 財政課  
電話 055 948 1414

一般会計

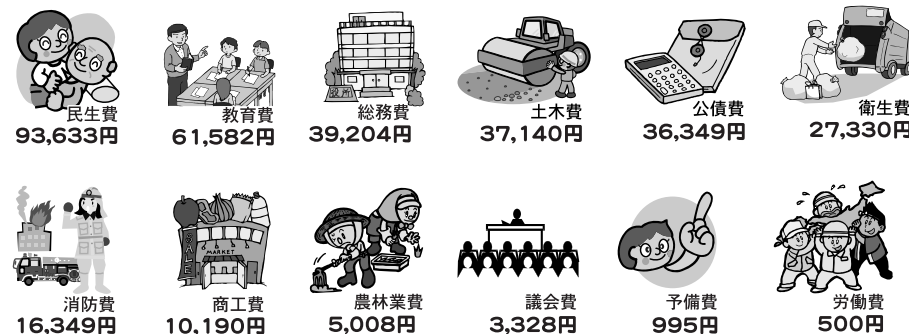
『教育・子育て・生活環境の向上』に重点配分

平成21年度の一般会計予算額は166億6千万円で、前年度と比較すると3億2千万円(1.9%)の減額となりました。平成20年度は市債の一括償還(3億円)を行っていますので、この分を除くと、実質的には前年度とほぼ同額となり、課題や重点施策に積極的に配慮した予算となっています。

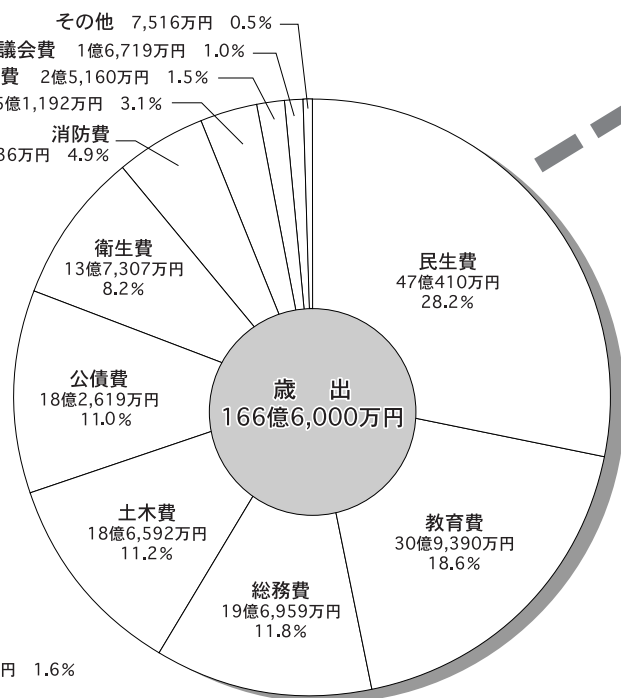
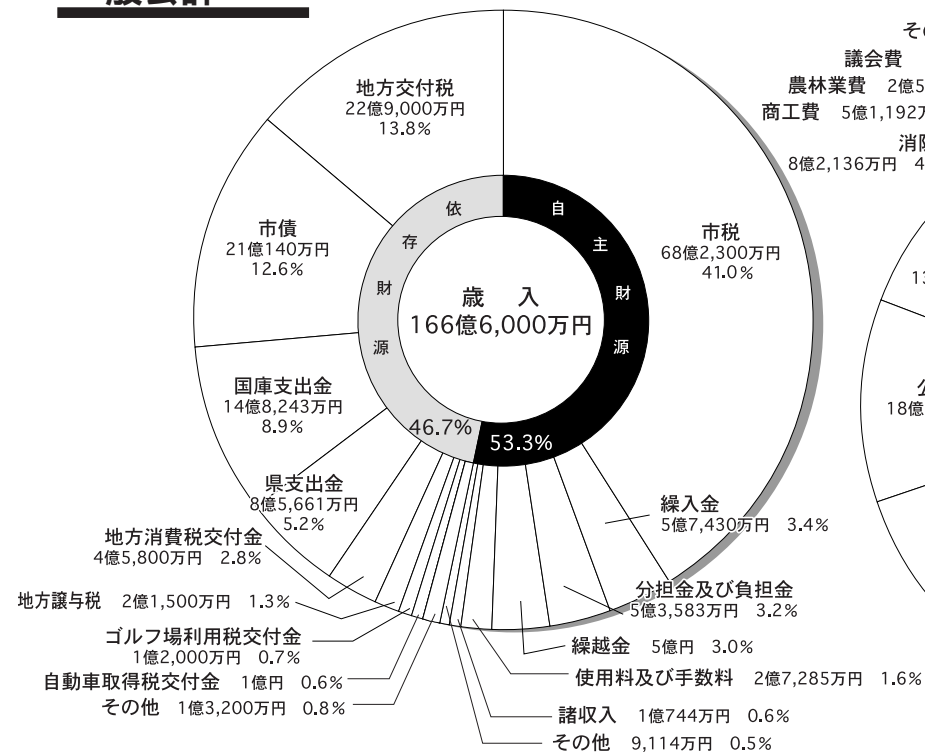
特別会計、上水道事業会計を合わせた総額は約284億4千万円で、前年度より約8億7千万円(3.0%)の減額となりました。

一般会計予算額 166億6千万円に

市民1人あたりの予算 **33万1,608円** は、  
このように使います



\* 予算額 ÷ 平成21年3月1日現在の住民基本台帳人口(50,240人)で算出。



総合計画の将来像の実現に向けた事業展開をしています

3つの戦略 ▼ 6つの基本方針 ▶

- 美しい自然に恵まれた快適な空間のまちづくり  
計 11億912万円

緑化推進、ごみ減量対策啓発、エコアクション21認証取得への取り組みなど
- 生き生き働く活気に満ちた産業のあるまちづくり  
計 5億6,501万円

中山間地まちづくり、観光案内板整備、地域観光推進、緊急雇用対策など
- 未来を担う人を育み豊かな歴史・文化を築くまちづくり  
計 33億3,043万円

長岡南小体育館耐震補強、長岡北小・葦山中学校舎等耐震整備、大仁中建設、共和幼・長岡幼・田京幼・堀越保の建設に向け事業着手、安全安心連絡網整備など
- だれでもすこやか元気に生きるまちづくり  
計 50億3,536万円

こども医療費助成、不妊治療助成、妊婦健診助成(5回から14回に拡大)、高齢者福祉タクシー等利用助成、心身障害者(児)タクシー等利用助成、第2期福祉村整備など
- 住みたい訪れたいにぎわいのあるまちづくり  
計 27億6,779万円

合併特例事業を含めた道路新設改良、プロジェクト『TOUKAI 0』(木造住宅耐震補強に上乘せ補助)など
- みんなが主役、明日に向かって進むまちづくり  
計 38億5,229万円

広報等発行、自治会、地域づくり推進など

特別会計 107億590万円

国民健康保険特別会計	51億6,200万円
後期高齢者医療特別会計	4億860万円
老人保健特別会計	2,230万円
介護保険特別会計	30億3,400万円
楠木及び天野揚水場管理特別会計	1,960万円
簡易水道等事業特別会計	8,920万円
下水道事業特別会計	19億7,020万円

上水道事業会計 10億7,217万円

収益的	収入	6億4,942万円
	支出	6億1,082万円
資本的	収入	1億4,490万円
	支出	4億6,135万円

基金の状況

基金名	平成21年度末残高見込額
財政調整基金	15億4,765万円
減債基金	6億6,863万円
土地取得基金	1億2,878万円
福祉対策基金	2億1,234万円
教育振興資金	4,045万円
ふるさと水と土基金	2,573万円
温泉保護対策基金	9,104万円
収入印紙等購入基金	500万円
国民健康保険給付等支払準備基金	100万円
国民健康保険高額医療費資金貸付基金	900万円
介護給付費準備基金	1,482万円
介護従事者処遇改善臨時特別基金	2,667万円
楠木及び天野揚水場管理基金	3,500万円
合計	28億611万円

市債の状況

会計名	平成21年度末残高見込額
一般会計	168億3,595万円
国民健康保険特別会計	2億5,294万円
簡易水道等事業特別会計	1億7,880万円
下水道事業特別会計	61億9,641万円
上水道事業会計	7億5,493万円
合計	242億1,903万円

